

協 定 企 業 名	ニッポン高度紙工業株式会社
交 流 行 事 名	「ニッポン高度紙工業・輪の森」交流事業
開 催 日 時	平成 25 年 5 月 12 日（日）午前 1 0 時 00 分～午後 3 時 30 分
開 催 場 所	いの町清水程野 ニッポン高度紙工業・輪の森
主な参加者・人数	ニッポン高度紙工業社員ご家族、中央森林組合、いの町、高知県 総勢 約 5 0 名
交流行事の概要	<p>昨年同様素晴らしいお天気の中、第 2 回となる「ニッポン高度紙工業・輪の森」交流事業が、今年もいの町の協定林で行われました。</p> <p>まず、いの町「グリーンパークほどの」の学習館の前で開会式が行われ、いの町の塩田町長からの挨拶では、最近注目を浴びている仁淀川について、そしてその川を育む森の大切さについてお話がありました。</p> <p>つづいてニッポン高度紙工業の岩松専任部長からは、紙の製造で一番大事なものは水であり、その水を守るべく、これからもお手伝いをしたいとお話をいただきました。また、協定林近くの国道沿いに設置された看板についてもご紹介がありました。</p> <p>森林組合の職員の方からの説明と注意の後、恒例の記念撮影をして現場へ向かいました。</p> <p>現場は込み入ったヒノキの林で、下草もほとんど生えていません。また、成長が悪く曲がったヒノキもちらほら。森林組合の職員の方の指導のもと、ノコギリで間伐を行っていきます。</p> <p>中には太いヒノキもあったようで、ノコギリでの作業は大変だったことと思います。おかげで林内に適度な空間が生まれ下草も生えてくることでしょう。おつかれさまでした。</p>



次は広場に戻ってヒノキの鍋しきを作りました。自信のある人はチェーンソーでの輪切りにチャレンジ！お父さんと一緒にチャレンジするお子さんもいました。仕上げの紙やすりも丁寧に。



お昼は森林生態学週間で地元の方が用意してくれた田舎料理のバイキングをいただきました。午後はアウトドアでのバウムクーヘンづくりに挑戦しました。インストラクターの方の指導のもと、生地から作り炭火で焼いていきます。皆さん上手に焼けたようで小さなお子さんも大喜びでした。



閉会式ではいの町吾北総合支所の市川支所長よりご挨拶があり、「今後も協働の森を通じて地域住民との交流を図りたい」と述べられました。最後にニッポン高度紙からのスタッフの皆さんへのお礼でイベントは締めくくられました。



今後もこういった活動を末永く続けていっていただきたいです。